

とこなめ市議会だより

NO. 155

令和2年11月1日 編集/発行 常滑市議会

〒479-8610 愛知県常滑市新開町4丁目1番地
TEL : 0569-47-6128 (直通)
E-mail : gikaigiji@city.tokoname.lg.jp



8月11日 避難所設営訓練の様子



10月3日~11日 常滑焼まつり

〈目次〉

一般質問（市政を問う）	P2～P6
委員会活動報告	P6、P7
決算特別委員会要望等	P7
定例会、協議会報告	P8



常滑市議会に関する定例会、委員会、協議会及び議長公務等の情報を中心に発信しています。



左記QRコードから市議会HP及びフェイスブックに簡単にアクセスできます。



一般質問録画映像
配信中



無料アプリ「マチイロ」を使って、「市議会だより」をスマートフォンやタブレット端末に配信しています。

一般質問 (市政を問う)

議員名の下にあるQRコードを読み取ると、各議員の質問映像をYouTubeでご覧いただけます。

問 保育園の使用済み紙おむつ処理は

答 課題を解決し、保育園で処理していきたい



加藤代史子
議員



保育園の紙おむつ処理について

問 保育園での使用済み紙おむつは、子どもの健康状態を保護者に把握してもらうため保護者が持ち帰っている。コロナ禍の中、衛生面に問題があり、保育士の負担も大きい。使用済み紙おむつを保育園で処理する考えはどうか。

答 紙おむつの回収費用や保管場所の確保などの課題を解決し、速やかに実施したい。

被災者支援のためマイナンバーカードを活用した罹災証明の交付等について

問 マイナンバーカード等での申請及びコンビニでの受け取りについての考えはどうか。

答 罹災証明書を遅滞なく交付するのは重要である。1か月以内の交付が原則。被災者支援手続き等のデジタル化は、国がこれから調査・検討するため、動向を注視していく。

問 コロナ禍の中で、非接触型の行政サービスが求められるが、考えはどうか。

答 新庁舎開庁時に向け、行政のデジタル化、QRコードの活用など実施に向け調査・研究している。

問 ペットとの避難の普及啓発が不足では

答 早急にHP・広報等で周知する



大川 秀徳
議員



ペットとの避難について

問 同伴避難できる避難所が作れないか。

答 ペットと同伴できる避難所の用意が理想だが、現時点では検討課題である。

問 ペットを乗せた車だけが車中泊できる場所を作れないか。

答 現時点では難しい。ペットを乗せた車を区分けする誘導をしていく。

常滑焼振興の事業について

問 常滑焼総合販売戦略サポート事業「食と器の出逢い事業補助金」をコロナ禍の情勢に合った使いやすいものにできないか。

答 補助金の引き上げ、補助回数制限の緩和等も含め、関係団体と制度の見直しを図っていく。

問 小学校の授業で使うアサガオの植木鉢を常滑焼の使用に戻せないか。

答 常滑焼振興・常滑焼に触れ合う機会を作る観点から、学校とも相談する。



問 施設劣化カルテの目的や展望は

答 情報の一元管理や改修等の検討材料



中村 崇春
議員



公共施設政策について

問 新型コロナウイルス感染症の影響により予想される来年度以降の税収減少で、公共施設アクションプランの実行計画に影響はあるか。また、対策はどうか。

答 税収の減少は確実だが、総額は未確定である。影響は避けられない。今後、第6次総合計画策定や収支見込等を勘案し、適正に運営していく。見直す際は、今年度中に検討を始める。

問 今年度開始の公共施設点検事業（施設劣化カルテ作成事業）の経緯や目的等は何か。

答 平成28年度より施設管理者点検を開始したが、30年度の集計や分析で点検結果にずれや不整合が発覚。統一のシートやマニュアルを使用し、情報の一元管理や共有化を目的に市職員2名体制で事業を開始した。

問 公共施設点検事業の展望や活用法はどうか。

答 劣化状況等を正確に把握し、優先順位をつけ、予防保全に繋げることで、修繕費の抑制と長寿命化が期待できる。また、改修や複合化等の検討材料として活用する。

令和2年第3回市議会定例会の一般質問は、9月2、3日に14人の議員が執行部と熱心なやりとりを行いました。問と答の内容はいずれも質問議員が執筆しました。なお、文責は質問議員にあります。

問 「母子健康手帳アプリ」の周知方法は

答 配信内容、利用者の声等紹介してPRRする



渡邊十三香
議員



コロナ禍における妊産婦への市の取組について

問 2015年～2016年の人口動態調査票のデータを分析した結果、この期間中死亡した妊産婦357人中102人が自殺であり、身体的な原因を抜き1位であった。赤ちゃんが生まれた全ての家庭へ保健師等が訪問する「赤ちゃん訪問」同様、出産前の「妊婦さん訪問」を実施する予定はあるか。

答 面接時に必要があると思われる。妊婦等には、既に実施している。

問 「一人も取り残さない」妊産婦からの切れ目のない支援のために多職種連携地域母子保健システム「長野モデル」を本市で取り入れてみてはどうか。

答 本市では既に、産婦全員を対象に産後2週間と1か月の計2回、医療機関でメンタルチェックを実施。「長野モデル」と同様の体制となっている。



問 設置に問題の太陽光設備に指導を

答 ガイドラインに基づいて指導



西本 真樹
議員



自然エネルギー（太陽光発電設備）の設置について

問 自然環境や生活環境を脅かすような事例が見られる。事業者に指導すべきでは。

答 2019年1月から「常滑市太陽光及び風力発電施設」の設置等に関するガイドラインを施行している。問題が発生したときは、ガイドラインに基づき、問題解決及び再発防止に努めるよう指導する。

問 設備の廃棄費用についての考えは。

答 国の動向として、2022年4月から、売電収入から廃棄費用を差し引き、積み立ての義務付けが検討されている。

冬に向けて、本市における

新型コロナウイルス感染症対策について

問 新型コロナウイルス感染症の影響で、新庁舎の建設が遅れる可能性が出たときに「緊急防災・減災事業債」の活用はどうか。

答 総務省が公表した地方債計画において、令和2年度中に建設工事に着手した事業は、現行と同様の地方財政措置になるため、工期が遅れても、本事業債は活用が可能である。

問 備蓄品数は何を基準に

答 避難者数1万1000人を想定



伊藤 直
議員



災害時の避難所開設・運営・備蓄品について

問 本市では、災害の規模により、避難所開設レベルを1から3までの3段階に定めている。レベル1では常滑市役所。レベル2ではそれに加えて市体育館、とこなめ市民交流センター、青海公民館、南陵公民館。レベル3になるとさらに三和小学校、青海中学校、鬼崎南小学校、常滑東小学校、丸山保育園、西浦北小学校、小鈴谷小学校が開設される。それぞれの施設では誰が開設・運営、備蓄品管理など行うのかを問う。

答 基本的には市の職員が中心になって行い、各施設の指定管理者にも協力をお願いすることとしている。

問 避難所開設が長引く場合のボランティア等の人員確保はどうか。

答 区長会及び今年の2月に行った防災講話等を通じて各区長へ避難所における運営について、依頼をしている。地域の自主性をお願いしたいと考えている。



一 般 質 問 (市政を問う)

議員名の下にあるQRコードを読み取ると、各議員の質問映像をYouTubeでご覧いただけます。

問 区長申請の処理状況は

答 適切に処理されている



坂本 直幸
議員



行政・地区・市民の連携を求める

問 新型コロナウイルス感染症対策として区長会は何回開催されたのか。

答 区長会は年4回の開催予定であるが、本年は1月末に実施。3月、6月、9月は中止し、書面開催した。

問 自治会の入会者が減少しているが、加入者増の取組はどうか。

答 転入者には、市民窓口で入会の案内をしている。未加入の市民に対しては、自治会への入会を勧めている。

問 区長は別として組長等は無報酬で市の伝達物等の配布を行っている場合もあるが、市として協力依頼等の対応はしているのか。

答 組長には、伝達物配布の年初めと終わりには協力依頼文章を送付している。

問 各自治会への補助金について、補助金の使途は決められているのか。

答 補助金の使途については、決められていない。自治会に任せてある。

問 市民の要望で長期末処理案件はないか。各部署とも、長期末処理はない。

問 市民病院でPCR検査が受けられるか

答 広く行っていない。保健所に相談を



相羽 助宣
議員



緊急事態宣言解除後の、新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

問 市民病院でPCR検査機器を購入するが、1日の検査数、検査対象者・検体採取場所は。

答 検査数は最大30件。対象者は、医療従事者、手術前に検査が必要な患者、消防士、海外への渡航証明が必要な方など。採取場所は、病院敷地内(屋外)であり、一般患者と完全に動線を分けている。

問 病院にサーモグラフィーを設置するか。

答 設置する準備をしている。

問 医療用マスク・防護服・手袋等は十分か。

答 現在、十分に補充できている。

新型コロナウイルス感染症対策事業
「とこめし応援券事業」について

問 市内飲食事業者支援を目的としたプレミアム付応援券は、5月に短い申込期間にかかわらず完売したが、広報期間が短く事業を知らなかった市民が多かった。そこで、第2回目の応援券を販売すべきと考えるがどうか。

答 販売は考えていないが、市内事業者の景気動向は注視していきたい。

問 来年度の教科書に「従軍慰安婦」の記述は

答 含まれていない



山田 豪
議員



本市における教科書採択について

問 教科書採択制度の概要について、各組織(採択地区協議会、選定委員会、調査員)の構成と採択までの手順はどうか。

答 採択地区協議会は、知多5市5町の教育長、学識経験者のほか、保護者、校長、教頭、教員の各代表で構成。教科ごとの専門教員に調査研究させ、慎重に選定にあたっている。協議会の選定結果を教育委員会で審議し承認することで採択を進めている。

問 令和3年度から中学校で使用する検定合格した教科書の一部に「従軍慰安婦」の呼称が復活している。本市の中学校の歴史教科書の採択の結果はどうか。

答 採択した教科書には、「従軍慰安婦」の記述はない。



令和2年第3回市議会定例会の一般質問は、9月2、3日に14人の議員が執行部と熱心なやりとりを行いました。問と答の内容はいずれも質問議員が執筆しました。なお、文責は質問議員にあります。

問 8月までの児童虐待及びDV相談数は

答 虐待数16人、DV相談数72件



井上 恭子
議員



子どもへの虐待、DVの安全なる対策を求む

問 新型コロナウイルスの影響で虐待やDVが増加。虐待する側のケアをしなければ解決にはならない。双方のケアをする対策を求む。

答 各団体と協力し、子どもに面接し精神的な支援をする。また、虐待と思ったら189（いちばやく）に電話をするよう市民に伝える活動をしている。

食の大切さ、危険性をもっと市民に伝えて

問 食品に含まれる添加物や農薬が、障害児の出生率と因果関係があるというデータがある。市民にその危険性を伝えてほしい。

答 国は健康を損なう恐れがない場合に限り使用を認め、安全確保に努めている。その他の事例はHPにリンクを貼り、周知する。

予算編成過程を12月に市民に公表を

問 来年度歳入の落ち込みが懸念される。12月には予算編成過程を市民に公表し、予算を市民が検討できる期間を設けてほしい。

答 予算編成過程は日々変化しており、市民に疑念を持たれるため考えてない。

問 常滑市空家等対策計画の推進を

答 良好な住環境保全に継続的に取り組む



伊奈 利信
議員



空家等の危険家屋について

問 常滑市空家等対策計画のアンケート調査についてどう考えるか問う。

答 89件を対象に実施し、回答率は約60%。維持管理が困難、売却や利活用したい、解体したいが費用が負担、税金等の不安などの回答が多かった。計画の基本的な方針で示すとおり、適正管理や利活用を促進する中で、相談窓口を充実させる。

問 空家になる前の対処方法について問う。

答 アンケート調査では、「相続したが住んでいない」との回答が多かった。高齢者世帯に対して、今後の利活用や将来計画を予め立ててもらおうようPRを行う。

問 定住化促進についての考えを問う。

答 新設した「空家バンク」を有効活用する。また、リフォーム補助金など他市町の取組を調査研究し、検討する。



問 犯罪被害者への支援策は

答 条例制定を含めて検討したい



成田 勝之
議員



犯罪被害者支援について

問 様々な犯罪があるが、相談窓口はあるか。HPでは検索できないがどうか。

答 総合窓口は安全協働課。個別ではDVなど女性特有の被害ならば福祉課、子供の虐待などはこども課が対応する。HP上で分かるように見直す。

問 常滑市独自の被害者支援策はあるか。

答 独自策はない。県や専門機関へつなぐ。

問 被害者等は普段の生活ができなくなることもある。買物や家事育児、介護、また、居住の確保などの支援が必要ではないか。

答 安全協働課を窓口として、ケースごとに担当部署がどんな支援ができるか考えていく。市営住宅の優先入居は行う。

問 風評被害など二次被害発生防止のための啓発が必要と考えるが、どんな状況か。

答 被害者をサポートする地域づくりを目的としてパネル展を開催した。

問 本市でも犯罪被害者支援条例を望む。

答 今後、検討していきたい。



一 般 質 問 (市政を問う)

議員名の下にあるQRコードを読み取ると、各議員の質問映像をYouTubeでご覧いただけます。

問 自治基本条例を制定しては

答 制定に向け調査研究する



盛田 克己
議員



自治基本条例制定について

自治基本条例をどのように考えるか。

地方自治の本旨は、住民自治と団体自治の両方の意味がある。住民自治は、市民がまちづくりに参加すること。団体自治は、地方公共団体が自らの意思と責任で市政運営を行うことである。基本自治条例は、まちづくりを進めていく上での仕組みやルールを明確にするものと位置づけられている。

地方分権の進展により、国と地方は、対等の関係となり、「自分たちのことは自分たちで決めていく」ことが拡大された。「市民の市政への参加」が重要となった。また、少子高齢化の進行は、市民ニーズの多様化、財政の伸びが停滞、まちづくりの担い手の減少などが生じる。次世代のためにも、本市も自治の基本理念を明らかにする条例の制定をすべきではないか。

行政に市民がどのように関わっていくのか、先進自治体事例などを調査して検討する。



問 繰入金増額やさらに経営改善が必要では

答 繰入額は協議し、経営改善を進める



稲葉 民治
議員



新型コロナウイルス感染症の影響による

常滑市民病院の経営状況について

新型コロナウイルス感染症の影響による常滑市民病院の経営状況はどうか。

新型コロナウイルスの影響が本年度末まで続いた場合、当初予算と比較すると、入院収益、外来収益ともに18%の減収となり、医業収益全体では9億7500万円の減収となる。国の補助金6億円、一般会計から3億円を病院会計に入れて大部分を補填する見込みである。

半田病院との経営統合に影響はあるか。

経営統合は地域医療にとって欠かすことのできない重要な取組なので双方で協力して統合を目指したい。

令和3年度に繰入金増額やさらなる経営改善が必要ではないか。

新型コロナウイルスの収束は見えないが、独立採算を目指して経営改善を進める。ただし、繰入金6億円は県内の公立17病院で最も少ない。令和3年度以降の繰入額は今後、協議したい。



総務・文教厚生委員会 活動報告

9月4日(金)、総務委員会と文教厚生委員会が合同で勉強会を開催しました。テーマは、「松原地区高齢者移動支援事業「松原無料タクシー」で、事業者である「社会福祉法人 常滑市社会福祉協議会」、「社会福祉法人 知多学園」、「サンレー交通株式会社」(敬称略)をお招きして経緯や現状、課題等の説明を受け、その後、質疑応答を行いました。

松原地区は公共交通が地区内になく、運転をしない高齢者の移動に大きな課題があります。移動支援を通じて生活利便性の向上のために令和元年度から社会実験として取組を実施されました。

令和元年度は市内商業施設への定期便方式と事前予約した時間・場所へ送迎するデマンド方式を試行され、令和2年度は知多バスの熊野・古場バス停までを事前予約で無料送迎されました。移動目的や予約の手間、日程調整等の課題が指摘されたことでした。

今後は「高齢になると不便になることを見越して少しずつ生活をかえる」ことを念頭に、各公共機関の連携や新しい市内巡回バスの新設等の要望や地域貢献・地域連携の強化を進めたいなどの発言がありました。



総務委員会 活動報告

9月10日(木)に総務委員会勉強会を開催し、次の3点について担当者から説明を受けました。

① Net119緊急通報システム について(消防課・福祉課)

このシステムは音声による通報が困難な聴覚・音声機能・言語機能障害者が円滑に消防へ通報できるよう開発されました。国は東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、全ての人が安心して暮らせる国づくりを目指し、導入を進めています。



② 新型コロナウイルス感染症による財政への影響について(税務課・総務課)

現在、新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中において社会経済活動が停滞し、本市においても、市税収入をはじめとする歳入の減少、感染拡大に対応するための事業費の増加などにより、令和3年度以降の事業計画について大幅な見直しの可能性が想定されると報告がありました。

③ 避難所設営訓練について(安全協働課)

市体育館において、新型コロナウイルス感染症対策を取り入れた「避難所設置・運営マニュアル」に基づき、避難所を担当する市職員を対象に、避難所の開設から閉鎖までの実働訓練が実施されました。終了後のアンケートでは、「今回参加できなかった職員にも訓練の機会があればと思う」、「人事異動で担当者が変わるため、定期的に同内容の訓練が必要と感じた」等の意見も寄せられたと報告がありました。

令和元年度決算を認定



新型コロナウイルス感染症の影響により、長期的な(行財政の)見通しを立てることが難しいなか、令和3年度予算編成に取り組むよう30項目を要望。

意見及び要望事項(抜粋)

- まちづくり事業費補助金について、新規団体の申請が増えるよう周知方法を検討されたい。また、市民に積極的に活動してもらえよう予算の増額を検討されたい。
- 北部バス運行については、地域からの要望をしっかりと考慮し、多くの人が納得して利用できる見直しをされたい。
- 運賃助成事業(半田常滑線、常滑南部線の路線)は、外に出られない高齢者や障害者が外出するためには必要な制度であるため、何度も情報提供、告知をされたい。
- 防災行政無線が聞こえづらい地区があるため、市民の安全を考え、防災ラジオは柔軟に販売できるように検討されたい。
- 骨髄提供者助成事業について、献血時等を利用して、特に事業所に対して、制度の趣旨と理解を得られるようにPRされたい。
- 不法投棄等の監視カメラについて、台数を増やし、カメラを移動せずに監視できるよう対策されたい。
- 資源回収ステーションについて、利用者の利便性の向上を図るため午後の開設を進められたい。
- 市内の児童が小学校の6年間で市内の各施設を訪れることができるよう検討されたい。
- 消防活動、消火活動に支障が出ないように資機材等を適切に更新及び完備されたい。
- コミュニティスクールについて、学校と地域が一体となつてくれるよう努力されたい。
- 特別教室への空調設備の設置を検討・計画されたい。
- 緊急通報サービスなど、在宅で暮らす人に必要な事業について、PRに努め利用促進をされたい。
- 水道事業の職員については、委託事業者も含め、水道課とわかるようネームを入れる、またはビブスを着用するなど身分を明確にされたい。
- 病院で購入した機器は、一年でも長く使えるよう適切に運用されたい。また、医師も含め、使用できる職員を確保し、切れ目なく運用することで、医療サービスの向上と経営改善につなげられたい。

決算認定案第1号から第10号については、原案どおり認定されました。

一般質問等の模様は12月9日（水）・10日（木）の午前9時30分から（録画放送は午後7時から）ケーブルテレビ（CCNC）で放送予定（再放送は12月13日（日）午前9時から）

令和2年第4回市議会定例会会期日程(案)

- 12月8日（火）開会、議案上程、説明
- 12月9日（水）10日（木）一般質問
- 12月11日（金）議案質疑、委員会付託、予算委員会
- 12月15日（火）経済建設委員会
- 12月16日（水）文教厚生委員会
- 12月17日（木）総務委員会
- 12月21日（月）委員長報告、質疑討論、採決、閉会

令和2年 第3回市議会定例会審議結果 (8月31日～9月30日開催)

審議結果については、いずれも原案どおり可決、認定、同意されました。

議案名	会派名	議員名																	
		山田 豪	西本 真樹	加藤 代史子	成田 勝之	渡邊 十三香	伊藤 直	坂本 直幸	井上 恭子	大川 秀徳	中村 崇春	都築 周典	伊奈 利信	稲葉 民治	相羽 助宣	伊藤 史郎	盛田 克己	川原 和敏	加藤 久豊
議案第46号	令和2年度常滑市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	令和2年度常滑市モーターボート競走事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	令和2年度常滑市病院事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	常滑市税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	常滑市環境美化条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	常滑市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定案第1号	令和元年度常滑市一般会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定案第2号	令和元年度常滑市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定案第3号	令和元年度常滑市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定案第4号	令和元年度常滑市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定案第5号	令和元年度常滑市農業集落家庭排水処理施設特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定案第6号	令和元年度常滑市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定案第7号	令和元年度常滑市常滑駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定案第8号	令和元年度常滑市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定案第9号	令和元年度常滑市モーターボート競走事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定案第10号	令和元年度常滑市病院事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第20号	常滑市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第4号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第5号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第6号	一般国道247号西知多道路の整備推進に関する意見書の提出について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 -：欠席 議長は採決に加わりません。

会派名の略 維…常滑維新の会 共…日本共産党議員団 公…公明党議員団 あ…新政あいちとこなめ 笑進…笑進会 新風…新風クラブ

市議会協議会

市政に関する重要な問題を全員で調査研究し、市政運営の円滑な推進を図るため、市議会協議会を開催しました。7月、8月、9月の開催状況と提出された主な案件は次のとおりです。

第7回協議会

(7月28日開催)

○第6次常滑市総合計画の策定延期について

○新庁舎市民制作プロジェクト(案) 甞れ!! 「黄色い煉瓦」くみん

○温水プール指定管理者の選定について

第8回協議会

(8月26日開催)

○常滑市立図書館本館の分散移転に係る公民館改修等について

第9回協議会

(9月30日開催)

○新学校給食共同調理場に係る建設候補地の選定について

○青海グラウンド代替整備に伴う大曾公園グラウンド整備案について